

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

小児・思春期糖尿病コンセンサスガイドライン

日本糖尿病学会 小児糖尿病委員会、日本小児内分泌学会 糖代謝委員会
南江堂、2015年6月5日発行

Grading Scale of Strength of Evidence

レベル 1+: 質の高いランダム化比較試験 (RCT)、およびそれらのメタアナリシスまたはシステムティックレビュー

レベル 1: それ以外の RCT、およびそれらのメタアナリシスまたはシステムティックレビュー

レベル 2: 前向きコホート研究、およびそれらのメタアナリシスまたはシステムティックレビュー、事前に定めた RCT のサブ解析

レベル 3: 非ランダム化比較試験、前後比較試験、後ろ向きコホート研究、ケースコントロール研究、およびそれらのメタアナリシスまたはシステムティックレビュー、RCT の後付けサブ解析

レベル 4: 横断研究、症例集積

■1 漢方薬

疾患:

鉛中毒 (副作用)

CPG 中の Strength of Evidence:

レベル 4: 横断研究、症例集積

引用など:

山田祐也, 迫田寛人, 井上徹, ほか. インスリン非依存型糖尿病に発症した漢方薬 (珍芪降糖) による鉛中毒. *糖尿病* 1998; 41: 933-5. [J-stage](#)

副作用に関する記載ないしその要約:

4. 生活指導の補完代替医療 (民間療法) の項に、下記の記載がある。

『個人輸入した漢方薬により鉛中毒を起こした例などの報告がある。』